

アートプロジェクト

秘密の人々

市民参加のかたち：リサーチ対象・展示鑑賞

「秘密の人々」は、千葉市の見えない日常労働者たちに光を当てる写真＋音声のインスタレーションである。郵便配達員や清掃員など、都市機能を支える人々の仕事風景を詩的に撮影し、彼ら自身の声で語られるモノローグとともに紹介する。モノローグはQRコードや音声ガイドでアクセス可能とし、複数言語対応で国際的観客にも開かれている。義務、友情、死、幸福などの深いテーマにも触れ、観客と語り手の感情的なつながりを生む。本プロジェクトは、千葉の文化的アイデンティティを国際的に紹介し、住民や観光客、研究者、マルチメディア愛好者に向けて都市生活を新たな視点で提示することを目指す。制作には、地元協力者、音響エンジニア、通訳、印刷・技術スタッフなどの協働が必要である。

Alexey Krupnik (ロシア)

アレクセイ・クルプニク

1990年、ロシア・モスクワで生まれた。ストリートダンスのサブカルチャーの中で創作活動を始めた。2010年代後半、ロシアでデジタル一眼レフカメラが普及する中で、自己表現の新たな手段を発見し、それが視覚芸術への情熱を呼び起こし、プロフェッショナルなキャリアの発展の原動力となった。

現在、映画監督として、ロシアの広告、アニメーション、音楽ビデオ業界で幅広い経験を有している。作品は、独特な視覚スタイル、細部にわたるこだわり、そして観客に強い印象を与える感情的に共鳴するストーリーテリングによって特徴づけられている。今日、ロシア業界で最も需要のある広告監督の一人である。

